

光と水のEconology

Pure Coat®

光触媒フッ素樹脂コーティング材 **水性**

光と水、それは美。

それは出会いのクリエイティブ。

技術を重ね融合した光触媒とフッ素樹脂に

陽光と雨が降りそそぎ、

建物は美しく、取り巻く空気は浄化される。

人をより快適に、環境をよりクリーンに。

エコロジーをテクノロジーで実現させたピュアコート®は

世界でただ一つの美をつくり出す、

自然にやさしいコーティング材です。

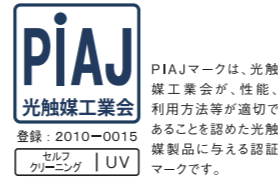
光と水のEconology
Pure Coat®

Since 1997

ピュアコート®、それは世界唯一の技術。

外壁の汚れを防ぎ寿命を延ばすピュアコート。光触媒+高耐候性フッ素樹脂を高い技術力で独自に配合し、これまでの無機系光触媒の問題点を解決した世界唯一の画期的なコーティング材料です。

※「ピュアコート®」は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。



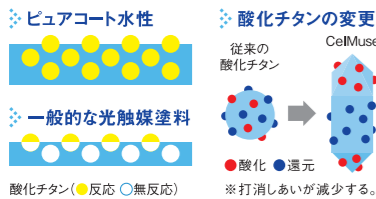
PIAJマークは、光触媒工業会が、性能、利用方法等が適切であることを認めた光触媒製品に与える認証マークです。

ピュアコートの特長

光触媒

独自の酸化チタンを利用し少量でも効果を発揮!

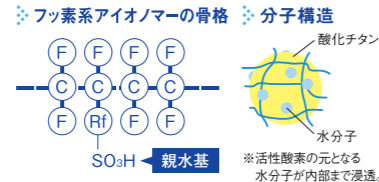
一般の光触媒塗料はバインダーの表面に出ている酸化チタンしか反応しないのに対し、ピュアコートは汚れを落とす活性酸素の元となる水分子が内部まで浸透し、すべての酸化チタンが反応。また、一般的な球形ではなくロード型のもを使用することで酸化還元が区分され、従来の4倍もの酸化還元能力を獲得。LEDや電灯の光にも反応し、少量でも優れた効果を発揮します。



フッ素樹脂

光触媒に分解されない唯一の有機系樹脂を使用!

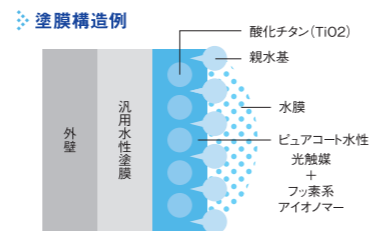
燃料電池内部の固体電解質や食塩電解槽のセパレーターとして使われる、卓越した耐水性と酸やアルカリにも強い耐久性を持つフッ素系アイオノマーをバインダーに採用。光触媒に唯一分解されない安定した有機系のバインダーを実現しました。また、配合の汎用性が広いことも大きな特長。防カビ剤や紫外線吸収剤等の機能性添加剤を加え、より高機能なコーティング材を作り出すことが可能です。



ピュアコート

世界唯一の技術で外壁をきれいに長く保つ!

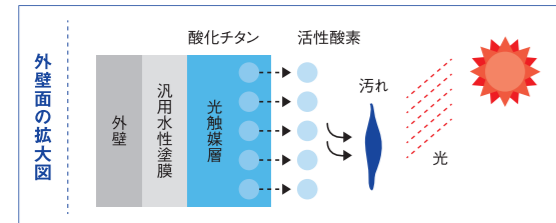
ピュアコートは四フッ化構造を持つフッ素樹脂であるフッ素系アイオノマーに反応制御された(株)ダイセル社製光触媒酸化チタン(TiO₂)「CeIMuse」を分散させたコーティング材。外壁の汚染だけでなく劣化も防ぎ、施工当時のきれいな状態のまま基材の寿命を延ばします。



ピュアコートの“汚れがつかないメカニズム”

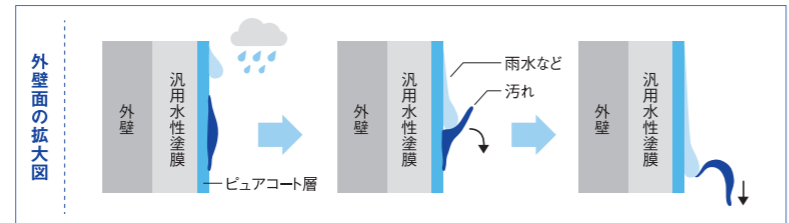
POINT 01 光触媒作用で汚れを分解!

光触媒に光があたると活性酸素が発生します。この活性酸素が表面に付着した親油性の汚れを分解し、付着力を弱めます。雨が降ると、この汚れが洗い流されやすくなります。

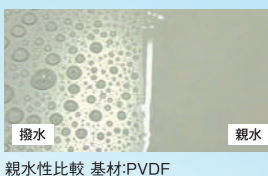


POINT 02 フッ素樹脂の親水性で汚れを防止!

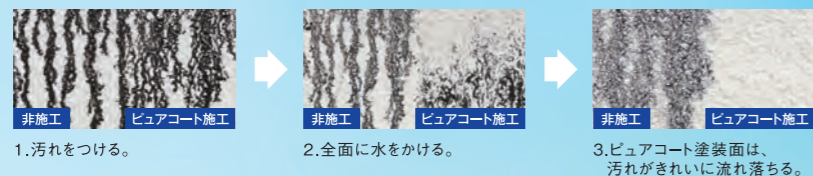
水が玉のようにならず、表面になじむ状態を親水性と言います。親水性の表面では、水は膜のように広がるため、雨水などが壁の汚れの下に入り込み、浮き上がらせて流します。フッ素系アイオノマーが表面を親水性にします。太陽光が当たりづらい北面なども汚れをつきにくくします。



親水性と撥水性の違い



汚れが流される様子(お客様の目で実演します)



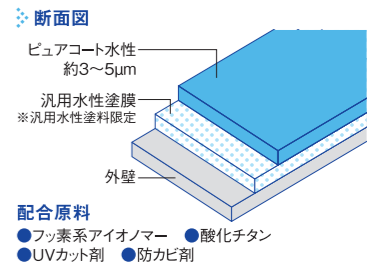
＼CHECK／



ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 光触媒フッ素コーティング(水性)

ピュアコート水性

一般的な光触媒とは違い、汎用水性塗料に下塗り不要で施工可能。シール・コーキング部の養生を必要としないため、工期の短期化と施工の簡略化を実現しました。また、バインダーであるフッ素系アイオノマーの機能により、親水性検査も容易。新築・塗り替え・リフォームの際にトップコートとして採用することで、外壁塗装面の汚れ・色あせなどの劣化を軽減します。

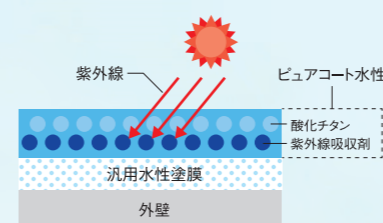


【ピュアコート水性6つのメリット☆】

MERIT 01

高耐候性とUVカットで外壁の劣化を防ぐ!

四フッ化構造を持つフッ素系アイオノマーがベースなので、ピュアコート自体が優れた耐久性を保持。促進耐候試験では20年以上の耐候性を示しました(メタルウェザー試験1,000時間以上)。また、厚膜設計を生かして紫外線吸収剤とラジカル補正剤を配合しているため、紫外線をカットして外壁の色あせを防ぐとともにさらに耐候性を高めます。

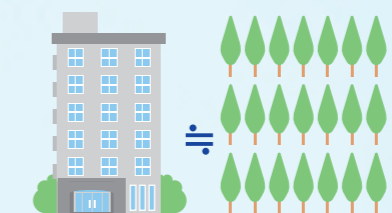


MERIT 02

NOx分解機能で環境にやさしい!

光触媒の働きにより、大気汚染物質の一つであるNOxを分解します。その能力は、施工面積1,000㎡で、ポプラの木約100本分。外壁だけでなくその周りの空気も浄化するため、エコロジーへの効果が期待できます。

ピュアコート約1,000㎡ ポプラの木約100本分

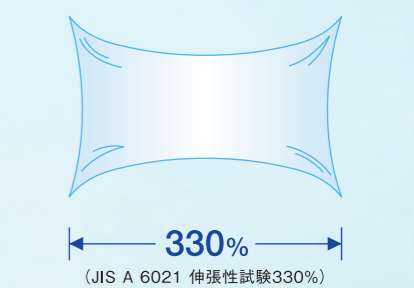


※ポプラの木1本あたりのNOx浄化能力を0.57g/日とした当社実験値

MERIT 03

優れた柔軟性で下地塗装を生かす!

伸張性に優れているため、弾性塗膜やシーリング材の挙動にも追従します。一般的に柔軟性のある塗膜が用いられるモルタル外壁においても、下地塗装の効果を損ないません。



MERIT 04

高い防じん効果で汚染を防止!

バインダーに使用しているフッ素系アイオノマーの性質により塗膜自体がイオン伝導性を持っているため、静電気を防ぎ乾燥状態であってもチリ・ホコリ・黄砂等が付着しにくくなり汚染を防ぎます。

表面抵抗値比較

種類	表面抵抗値
ピュアコート	1.7×10 ⁸ Ω
他社低汚染塗料	2.1×10 ¹⁴ Ω

※表面抵抗値とは電気の通りやすさの指標であり、数値が低い程帯電防止機能が高くなります。一般的に10¹²Ω以下の場合、帯電防止効果有り、10⁸Ω以下の場合、帯電防止効果有と判断されます。

MERIT 05

一般の塗装機で施工可能! 施工管理も容易!

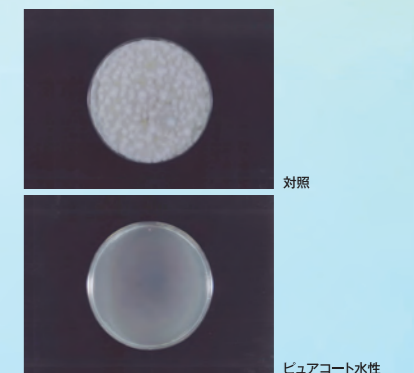
技術は世界で唯一ですが、一般的な塗装機での施工に対応しています。また、一般的な光触媒と異なり、乾燥後すぐ光がなくてもバインダーのフッ素系アイオノマーそのものが優れた親水性を発揮するため、均一に施工できているかどうか容易に検査できます。施工と施工管理のしやすさが大きな特長です。



MERIT 06

広い汎用性と厚膜設計で防カビ剤を配合可能!

ピュアコート水性の特長である厚膜設計により、防カビ剤の配合が可能。光触媒と防カビ剤のハイブリッドにより、優れた効果を発揮します。



施工実績

ピュアコートは誕生から20年。個人邸や集合住宅、オフィスビル、学校をはじめとした公共施設など、多彩な施工で活躍してきました。その実績の一部をご紹介します。



1		6
2	3	7
4	5	
		8

1. ほうとう不動(山梨県) / 施工:2009年 / 設計:保坂猛建築都市設計事務所
2. 山手賃貸集合住宅(神奈川県) / 施工:2016年 / 設計:田井勝馬建築設計工房 / 写真:大澤誠一
3. 古江台の家(大阪府) / 施工:2016年 / 設計:坂本昭・設計工房CASA / 写真:松村芳治
4. 港区高輪子ども中高生プラザ(東京都) / 施工:2011年 / 写真:株式会社ナカサアンドパートナーズ
5. 足利の家(栃木県) / 施工:2007年 / 設計:羽鳥芳之建築設計事務所
6. JR糸魚川駅(新潟県) / 施工:2013年 / 設計:安井建築設計事務所
7. 新宿マルイビル(東京都) / 施工:2009年
8. 警視庁本部庁舎(26)外壁改修工事(東京都) / 施工:2017年

会社概要

会社名 株式会社 ピアレックス・テクノロジーズ
(Pialex Technologies Corp.)

本社 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14
TEL:0725-22-5361 / FAX:0725-22-5363

東京営業所 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-45-9
ヤマナカヤビル6F
TEL:03-5940-6075 / FAX:03-5940-6076

中部営業所 〒510-8114 三重県三重郡川越町亀崎新田77-568
TEL:059-363-5151

設立 1967年7月25日

資本金 1千万円

主要株主 チヨダウーテ株式会社(東証JQS)

業務内容 機能性コーティング材の開発、設計、製造
フッ素樹脂系光触媒コーティング材料「ピュアコート®」は
(株)ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

登録許可 塗装工事業
国土交通大臣許可(般-29)第24542号

所属団体 光触媒工業会
公益社団法人 日本建築家協会近畿支部 協力会員
公益社団法人 日本建築家協会東海支部愛知地域会 協力会員
一般社団法人 大阪府建築士会 賛助会員
一般社団法人 東京建築士会 賛助会員
一般社団法人 田園都市建築家の会 協賛会員
兵庫県建築設計監理協会 協力会員

技術顧問 桑畑 進(大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授)

仕様書

塗装方法	材料	容量	調合(重量比)	所要量(kg/m ²)	塗回数	間隔時間/工程内
下地調整	●基材(下塗塗料)は十分乾燥させてください。●汚れや付着物はエアブローで除去してください。					
吹付塗装	ピュアコート水性	8kg/3kg	既調合	1回当たり0.035~0.045 2回合計0.07~0.09	2	夏季0.5 冬季1.0 (ウェットオンウェット不可)

試験成績表

試験項目	結果	試験方法
乾燥時間	3時間以内	JIS K5600-3-2準拠
硬度	HB	JIS K5600-5-4準拠
付着性	100/100	JIS K5600-5-6準拠
塗膜外観	正常	目視
耐水性	合格	JIS K5600-6-1準拠
耐アルカリ性	合格	JIS K5600-6-2準拠
引張り強さ	合格(4.8N/mm)	JIS A 6021準拠
破断時の伸び率	合格(320%)	JIS A 6021準拠

光触媒性能表示

商品名	ピュアコート水性
光触媒等の種類	酸化チタン
光触媒等加工部位	外装材塗膜表面
光触媒等の効果	測定方法は JIS R1703-2 に準拠しました。 セルフクリーニング効果 分解活性指数 7.5 ※汚れを分解する性能の目安です。
使用できる場所	屋外
安全性	急性経口毒性、皮膚一次刺激、変異原性について、 光触媒工業会の安全性基準を満足していることを確認しています。
使用上の注意	表面に過度の汚れが付着していると、十分なセルフクリーニング効果が得られませんので、 定期的な清掃をお勧めします。

※光触媒工業会の分解活性指数の認証基準は5以上であり、大きいほど性能が高いことを表します。

注意事項

1. ピュアコートは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工要領書と異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。
2. 施工に関しては、必ず施工要領書、SDSをご確認ください。
3. 光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。①建物の構造上汚れがたまりやすい箇所 ②内部からの水まわりに起因するもの ③無機系汚れや小動物の糞、樹液など極性的な汚れ ④釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆 ⑤シーリングに起因する汚れ
4. 濃色下地に使用した場合、白度が上がる恐れがあるため推奨いたしません。
5. 光沢のある下地に使用した場合、光沢が低下するため推奨いたしません。
6. やむを得ず④および⑤に該当する下地に使用の場合は、必ず試験施工を実施し、仕上がりをご確認ください。
7. 環境によっては、藻やカビが発生する場合があります。
8. 洗浄の際に強く拭き取ると塗膜が侵される恐れがあります。中性洗剤により軟質のスポンジ等で軽く拭き取る程度にしてください。
9. 下地材の乾燥が不十分(硬化不良)の状態では施工すると白濁の恐れがあります。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。 ※本カタログ記載の内容は2017年4月現在のものです。

光と水のEconology
Pure Coat®

光触媒機能を有するフッ素樹脂塗料「ピュアコート®」開発・製造・施工・販売



株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

[本 社] 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14 Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

[東京営業所] 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-45-9 ヤマナカヤビル6F Tel:03-5940-6075 / Fax:03-5940-6076

[中部営業所] 〒510-8114 三重県三重郡川越町亀崎新田77-568 Tel:059-363-5151

www.pialex.co.jp

🔍 ピュアコート

